

令和7年度「全学FDの日」について

【期日】 令和7年9月22日（月）9：30～11：45

【場所】 Zoomによる生配信（ならびに後日、オンデマンドによる配信）

【テーマ】 大学入試と宇大の教育の未来 ～総合型選抜の視点から～

【趣旨】

本企画の目的は、それぞれの入試単位が常に最適な（すなわち、それぞれの教育内容に適合した）入試制度を選び取っていくための一助となることである。そのためのトピックとして、まだ戸惑いも多い総合型選抜を取り上げる。各学部の状況報告とディスカッションを行うことによって、既存の選抜方法（AP）や入学後の教育内容（CP）の課題を可視化し、それらの根底にあるビジョン（DP）を浮かび上がらせる。

本企画では、まず文部科学省の方針や他大学の動向など、総合型選抜の概略を説明する。次に、各学部における実施状況を紹介し、選抜方法や教育方法の課題を共有する。「求める人物像」は各入試単位によって異なるが、そのような人物にアプローチし、選抜し、教育する上での実務上の諸課題には共通点も少なくない。一層厳しさを増していく「志願者の確保」と、それと相反するかに見える「質の確保」は、教職員の「働き方」との間で、誰の目からも適正な解が見えづらくなっている。そこで、終盤のパネルディスカッションでは、学部学科の壁を越えて、多様な視点から意見を交換する。パネラー間だけでなく、視聴者とパネラーとの双方向の議論も交えることによって、問題の輪郭を可視化する。

このように、学内全体で入試に関する課題を共有することは、これまでになかった。学内限定の催しである利点を活かし、ホンネの行き交う場の中に、それぞれの視聴者、それぞれの入試単位にとっての「次のステップ」（あるいはビジョン）が立ち現れてくることを期待する。

【全学シンポジウム】

9:30 ～ 9:40 学長挨拶（10分）

9:40 ～ 9:45 趣旨説明（5分）

9:45 ～ 10:00 講演（15分）

・理事（学務・情報・総務・財務担当）・副学長 横田 和隆
講演テーマ「総合型選抜の実質化と活用」

10:00～10:05 司会・講師紹介（5分）

・アドミッションセンター副センター長 出口 明子

10:05～10:47 事例紹介（42分）

・事例紹介①：データサイエンス経営学部教授 杉田 直樹
・事例紹介②：地域デザイン科学部准教授 若園 雄志郎
・事例紹介③：国際学部教授 米山 正文
・事例紹介④：共同教育学部教授 出口 明子
・事例紹介⑤：工学部教授 大庭 亨
・事例紹介⑥：農学部助教 煉谷 裕太郎

10:47～10:52 休憩（5分）

10:52～11:37 パネルディスカッション (45 分) (質疑応答を含む)

11:37～11:45 総括コメント (8 分)

・理事 (学務・情報・総務・財務担当)・副学長 横田 和隆

【学部等の取組】

例年どおり、同日午後、または別日程にて個別 FD を実施する (テーマは自由)。

令和7年度「全学FDの日」個別FD活動企画

○データサイエンス経営学部

日 時 令和7年9月22日(月) 13:30～14:30

場 所 オンライン

テーマ 総合選抜で入学した学生の教育について

内 容

総合選抜で入学した学生は、DS もしくは経営に対する目的意識が高いと思われる。そうした目的意識が高い学生に対する教育について、演習や卒論指導などにおいて留意すべき点や工夫できることなどについて意見交換を行う。総合選抜入学者に見られる傾向等を教員間で共有しつつ、総合型選抜のあり方について議論を深める契機とする。

○地域デザイン科学部

日 時 令和7年9月30日(火) 16:00～17:00 (教授会終了後に実施)

場 所 陽東キャンパス8号館825教室

テーマ 総合型選抜による入学者の状況と指導について

内 容

総合型選抜で入学してきた学生の気質や学内外での学修状況について共有し、その特性や習熟度等に沿った一般入学者を含むフォローアップの方針について検討する。

○国際学部

日 時 令和7年9月30日(火) 15:30(予定)～16:20 (教授会終了後に実施)

場 所 峰キャンパス国際学部大会議室(5号館A棟4階)

テーマ 学部専門科目に関わるルーブリック評価について

内 容

いわゆる年内入試(全学FDの日のテーマである総合型選抜と学校推薦型選抜)は、学力検査を中心とする一般選抜とは異なり、面接や集団討論、小論文やプレゼンテーションなど、多面的・総合的に選抜方法をとっている。大学入学後、こうした能力の評価に関してはルーブリック評価が有効であることが以前よりずっと指摘され、本学においても全学的に推進されてきた。そこで、2025年度後期から開始予定の学部専門科目に関わるルーブリック評価について、これまで試行の結果の経験をもとに、その教育上の目的、機能、課題、実践方法についての情報共有と意見交換を行う。全学FDのテーマである入試者選抜と、教育内容との連続性を考えるためにも重要なテーマとなる。

○共同教育学部

日 時 令和7年10月21日(火)

場 所 峰キャンパス共同教育学部8号館A棟2階大会議室

テーマ (仮) 共同教育学部における入試の現状と課題

内 容

近年の入試変更において受験倍率や教員就職率等の観点から検証し、情報共有する。それを踏まえ、今後の方策について意見交換を行う。

○工学部

日 時 令和7年9月30日(火) 13:30～(教授会終了後)

場 所 陽東キャンパスアカデミアホール

テーマ 『PROG』テストによる学修成果の可視化と改善へのアプローチ
(講師：株式会社リアセック 和高 雅俊)

内 容

知の総和答申では、急速に進行する社会変化に対応し、個々の幸福と社会全体の豊かさを実現することが求められています。少子高齢化やデジタルトランスフォーメーション（DX）、地方創生、国際競争力の低下などの課題に直面する中で、高等教育の強化や多様な人材の育成が重要であるとされています。

そのような背景の中、各大学では学修成果の可視化を進め、内部質保証の強化に積極的に取り組んでいます。本講演では、学修成果を『PROG』テストでどのように可視化し、それをどのように教育の改善につなげていくかについて、宇都宮大学の学部事例なども踏まえながら考えていきます。また、多くの大学が直面している課題とともに、具体的な施策例をご紹介します。

○農学部

日 時 令和 7 年 9 月 22 日（月） 13：00～15：00

場 所 峰キャンパス農学部大会議室

テーマ ・新学科について
・PBL 報告

内 容

新学科のカリキュラムや広報・入試関係の情報共有を行うと共に、PBL についても報告して情報を共有する。